



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シモジマ

コード番号 7482 URL <http://www.shimojima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下島 和光

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長

(氏名) 谷中 浩三

TEL 03-3862-8626

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,426	△2.5	2,408	14.3	2,535	18.4	1,411	18.7
23年3月期第3四半期	37,354	3.7	2,106	△24.3	2,141	△25.4	1,188	△27.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,423百万円 (25.1%) 23年3月期第3四半期 1,137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	59.92	—
23年3月期第3四半期	50.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	35,895	29,009	80.7	1,234.13
23年3月期	35,002	28,387	81.1	1,196.19

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 28,966百万円 23年3月期 28,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,400	△1.6	2,680	7.3	2,810	7.7	1,560	21.1	66.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	24,257,826 株	23年3月期	24,257,826 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	786,903 株	23年3月期	542,261 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	23,553,608 株	23年3月期3Q	23,715,637 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初の東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響、及び自粛ムードの広がりによる消費マインドの悪化から一部回復の兆しは見られたものの、他方では、欧州の財政危機を背景とした急激な円高や、タイにおける洪水の被害など、依然として不透明で厳しい状況が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは、基本理念である「お客様のニーズに迅速かつ的確にお応えする」ことを基本に、販売体制及び利益基盤の強化に取り組んでまいりました。また、お客様との受発注の仕組みを、より安定的でかつ強固なものとするために、平成23年8月より新基幹システム「フェニックス」を稼働させました。しかしながら、売上については、幾分の回復傾向が出てきたものの、震災の影響による需要の停滞と一部商品取引の減少等、厳しい環境で推移したため、前年同期の実績まで挽回するには至りませんでした。一方、販売費及び一般管理費については、物流費、人件費全般を当連結累計期間も減少させることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は364億26百万円（前年同期比2.5%減）となりました。利益面では連結営業利益24億8百万円（前年同期比14.3%増）、連結経常利益25億35百万円（前年同期比18.4%増）、連結四半期純利益14億11百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〔紙製品事業〕

紙袋・包装紙は当社グループの主力商品であり、主に当社オリジナルブランド商品を販売いたしております。当期は、特注品の受注強化に注力し一定の成果を得ることが出来ましたが、震災の影響によるイベント需要の停滞及び高級紙袋等の売上不振により厳しい環境で推移いたしました。この結果、紙製品事業の連結売上は70億79百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

〔化成品・包装資材事業〕

ポリ袋・PP袋等の化成品と粘着テープ・食品関連包材・紐リボン等の一般包装資材は社会ニーズに適合した商品開発を推進し販売強化を図っております。当期は、震災の影響による需要の停滞等厳しい環境で推移いたしました。この結果、化成品・包装資材事業の連結売上は184億66百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

〔店舗用品事業〕

事務用品・商店用品・日用雑貨等を含む店舗用品事業は、当社オリジナルブランド商品を含め多岐に亘っております。当期は、震災による影響の他、一部商品取引の減少等により、厳しい環境で推移いたしました。この結果、店舗用品事業の連結売上は108億79百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、358億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億92百万円増加しました。流動資産は184億32百万円となり、6億88百万円増加しました。主な要因は、たな卸資産が5億71百万円増加したことによるものであります。固定資産は174億63百万円となり、2億4百万円増加しました。主な要因は、ソフトウェアが1億15百万円等増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は68億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億71百万円増加しました。流動負債は49億50百万円となり、3億28百万円増加しました。主な要因は、仕入債務が2億88百万円増加したことによるものであります。固定負債は、19億36百万円となり、57百万円減少しました。主な要因は、土地再評価に係る繰延税金負債が46百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産額合計は、290億9百万円となり、6億21百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が8億20百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少し、80.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

震災の影響による需要の停滞等で売上が伸びない中、売上高は前回予想より減少する見込ですが、粗利率が改善したことと、経費の削減を進めたことにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を上回る見込となりました。これにより、平成23年5月10日に公表いたしました平成24年3月期通期の業績予想を以下の通り修正いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	47,969	2,373	2,466	1,368	57.72
今回修正予想 (B)	47,400	2,680	2,810	1,560	66.23
増減額 (B-A)	△569	306	343	191	8.51
増減率 (%)	△1.2	12.9	13.9	14.0	14.7
前期実績	48,177	2,498	2,608	1,287	54.30

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,183	5,679
受取手形及び売掛金	5,005	6,523
有価証券	50	—
商品及び製品	4,532	5,025
原材料及び貯蔵品	476	555
その他	512	664
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	17,744	18,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,107	4,950
土地	7,279	7,279
その他（純額）	1,444	1,538
有形固定資産合計	13,831	13,769
無形固定資産		
のれん	219	158
その他	1,095	1,199
無形固定資産合計	1,314	1,357
投資その他の資産		
その他	2,166	2,380
貸倒引当金	△53	△44
投資その他の資産合計	2,112	2,336
固定資産合計	17,258	17,463
資産合計	35,002	35,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,523	2,812
1年内返済予定の長期借入金	3	—
未払法人税等	793	743
賞与引当金	303	125
役員賞与引当金	—	27
その他	998	1,242
流動負債合計	4,621	4,950
固定負債		
退職給付引当金	632	673
その他	1,361	1,262
固定負債合計	1,993	1,936
負債合計	6,615	6,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405	1,405
資本剰余金	1,304	1,304
利益剰余金	32,455	33,276
自己株式	△622	△877
株主資本合計	34,542	35,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	88
繰延ヘッジ損益	19	△1
土地再評価差額金	△6,275	△6,228
その他の包括利益累計額合計	△6,173	△6,142
少数株主持分	18	42
純資産合計	28,387	29,009
負債純資産合計	35,002	35,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	37,354	36,426
売上原価	25,144	24,044
売上総利益	12,209	12,381
販売費及び一般管理費	10,103	9,972
営業利益	2,106	2,408
営業外収益		
受取利息	37	35
受取配当金	12	5
受取賃貸料	49	43
為替差益	—	7
雑収入	92	112
営業外収益合計	192	204
営業外費用		
売上割引	51	51
支払利息	0	0
為替差損	82	—
雑損失	22	26
営業外費用合計	157	78
経常利益	2,141	2,535
特別利益		
保険解約返戻金	39	0
貸倒引当金戻入額	6	—
特別利益合計	46	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損	—	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	45	—
特別損失合計	45	3
税金等調整前四半期純利益	2,142	2,532
法人税等	949	1,141
少数株主損益調整前四半期純利益	1,193	1,391
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△19
四半期純利益	1,188	1,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,193	1,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	6
繰延ヘッジ損益	△50	△21
土地再評価差額金	—	46
その他の包括利益合計	△55	31
四半期包括利益	1,137	1,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,134	1,442
少数株主に係る四半期包括利益	3	△19

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,253	18,532	11,568	—	37,354	—	37,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	—	840	850	△850	—
計	7,253	18,542	11,568	840	38,204	△850	37,354
セグメント利益	1,389	1,902	109	58	3,460	△1,353	2,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,353百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,079	18,466	10,879	—	36,426	—	36,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	—	792	799	△799	—
計	7,079	18,473	10,879	792	37,225	△799	36,426
セグメント利益	1,373	1,790	335	53	3,553	△1,144	2,408

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,144百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月23日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が254百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が877百万円となっております。